

氏名	小泉 浩平	部署	作業療法学科	職名	助教
研究分野	身体機能作業療法学, がんリハビリテーション, 行動医学				
学位	博士 (健康科学)				
学歴	2017年 埼玉県立大学大学院 博士前期課程 2021年 埼玉県立大学大学院 博士後期課程				
経歴	2006年 埼玉医科大学病院 リハビリテーション部, 2007年埼玉医科大学国際医療センター リハビリテーションセン				
所属学会 (役職)	日本作業療法士協会, 埼玉県作業療法士会, 日本作業療法研究学会, 日本がんサポーターティブケア学会, 日本行動医学				

【2020年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	The effects of locomotor activity on gastrointestinal symptoms of irritable bowel syndrome among younger people: An observational study.	共著	あり	○	PloS one, 15(5), e0234089	Toyohiro Hamaguchi, Jun Tayama, Makoto Suzuki, Naoki Nakaya, Hirokazu Takizawa, Kohei Koizumi, Yoshifumi Amano, Motoyori Kanazawa, Shin Fukudo	2020.5
2	A Cross-sectional Study of Attention Bias for Facial Expression Stimulation in Patients with Stroke at the Convalescence Stage.	共著	あり	○	International journal of behavioral medicine, 1-12.	Hirokazu Takizawa, Toshiyuki Ishioka, Kohei Koizumi, Jun Tayama, Makoto Suzuki, Naoki Nakaya, Toyohiro Hamaguchi	2020.12
3	Reproducibility between robot and human movements: preliminary development of a robotic device reconstructing therapeutic motion	共著	あり		Journal of Ergonomic Technology, 20(1) 10 - 19	Yuki Saito, Makoto Suzuki, Yuji Koike, Kohei Koizumi, Naoki Nakaya, Masahiro Abo, Toyohiro Hamaguchi	2020.12
4	Efficacy of attention bias modification combined with cognitive behavioral therapy for reducing anxiety in patients with hematopoietic malignancies: a quasi-randomized controlled trial	共著	あり	○	Journal of Affective Disorders Reports, 100122.	Koizumi Kohei, Hamaguchi Toyohiro, Tayama Jun, Ishioka Toshiyuki, Nakamura-Thomas Hiromi, Koike Yuji, Nakaya Naoki, Konno Michiko, Makita Shigeru	2021.2
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者 (発表者は○印)	発表等年月	
1	心的外傷性ストレス症状を有する急性期脳卒中患者の心理	共同		第57回 日本リハビリテーション医学会学術集会	○大木原 徹也, 濱口 豊太, 石岡 俊之, 小泉 浩平, 武田 智徳, 高橋 秀寿, 牧田 茂	2020.7	
2	退院支援によって退院後の満足度の高い生活とADL能力維持が図れた骨転移による胸髄損傷例	共同		緩和・支持・心のケア 合同学術大会2020	○水村 翔, 小泉 浩平, 大木原 徹也, 近田 光明, 山崎 真由子, 牧田 茂	2020.8	
3	MCIはないが、うつ症状のある回復期脳卒中患者には中性表情に対する注意バイアスがある	共同		第54回日本作業療法学会	○滝澤 宏和, 田山 淳, 小泉 浩平, 石岡 俊之, 濱口 豊太	2020.9	
4	脳卒中急性期の余暇時間に行う能動的な作業活動は麻痺側上肢の使用頻度を向上させる	共同		第54回日本作業療法学会	○國府田 剛, 小泉 浩平, 鈴木 真弓, 高橋 秀寿	2020.9	
5	Post-traumatic stress symptoms in acute stroke patients correlate with rumination.	共同		11th World Congress for Neurorehabilitation – WCNR 2020 –	○Tetsuya Ohkihara, Toyohiro Hamaguchi, Toshiyuki Ishioka, Mayumi Suzuki, Kohei Koizumi, Tomonori Takeda, Hidetoshi Takahashi, Shigeru Makita	2020.10	

6	注意偏向修正と認知行動療法の併用介入は・造血器腫瘍患者の不安心理を軽減する ・準ランダム化比較試験	共同	第14回日本作業療法研究学会学術集会	○小泉 浩平, 濱口 豊太, 滝澤 宏和, 大木原 徹也, 牧田 茂	2020.11
(4) その他					
	名称	単・共	発表場所等	発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	企画セミナー がんと作業療法 ～臨床研究をはじめのための手掛かり～	共同	第54回日本作業療法学会	話題提供者, シンポジスト: 佐賀里 昭, 西山 菜々子, 壺岐尾 優太, ○小泉 浩平	2020.9
2	若手の会企画: 若手よろず相談会 part.2 ～コロナに負けるな! リモートで悩みを共有・解決しよう!～	共同	第27回日本行動医学会学術総会	座長: 滝澤 宏和 演者: 津野 香奈美, ○小泉 浩平, 大矢 幸弘, 平井 啓	2020.12
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	日本学術振興会 科学研究費助成事業(若手研究)		がん患者の前向きな生活適応ヘレジリエンスを高める心理支援と運動介入方略の開発	研究代表者	2020.4-2023.3
3. 教育業績					
(1) 講義					
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
1	身体機能作業療法実習(疾患別)	○	13	科目責任者として講義および実習を実施した。コロナ感染症へは遠隔等を併用して対応した。	
(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
1	該当なし				
(3) 実習					
	実習の名称	科目責任者	学外実習: 期間 学内実習: コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
1	身体機能作業療法実習(疾患別)	○	13	科目責任者として講義および実習を実施した。コロナ感染症へは遠隔等を併用して対応した。	
2	IPW実習		2020.9~2020.10	4日間のケアプラン作成過程を通し、チーム形成を学ぶ支援を実施した。埼玉県立大学5名、埼玉医科大学1名を指導した。	
3	臨床作業療法技能実習		3	2年次生を対象に科目担当者として実技指導、評価を実施した。	
4	臨地体験実習		2021.2~2021.3	中間訪問を実施した。課題進捗状況とレジユメの評価を実施した。	
(4) 論文指導					
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数		
1	卒業論文	2020.4~2021.3	主指導	2	副指導 名
2	修士論文		主指導(指導教員)	名	副指導(指導補助教員) 名
3	博士論文		主指導(指導教員)	名	副指導(指導補助教員) 名
(5) その他					
	名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	該当なし				
4. 社会貢献活動					
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師					
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ		開催年月
1	IPW総合課程	埼玉県立大学	専門職連携を学ぶ講座		2020.11
2	多職種連携基礎研修	埼玉県立大学	グループ演習 ファシリテータ		2021.2
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等					
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期	
1	Occupational Therapy in Oncology-Researchers Network	副会長		2021.2-2023.3	
2	日本作業療法士協会	日本作業療法学会演題査読者		2022.3	
3	埼玉県がんリハビリテーション研修会	運営スタッフ		2022.3	
4	埼玉医科大学国際医療センター	非常勤講師		2021.3	
(3) ジャーナリズムでの発言					
	メディア等の名称	内容			年月
1	該当なし				

(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	情報図書委員		2020.4-2021.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	専門職連携部会部員		2020.4-2021.3
3	学科等における委員会等	学年担当 (1年次)		2020.4-2021.3
6. 受賞 (研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				